

## ■大会規則・細則

- 1.各チームは球場到着後、速やかに大会本部にその旨を報告し、その時点で資格審査を受けること。
- 2.ベンチは組み合わせ表の若番のチームを一塁側とする。
- 3.グラウンドインから試合終了まで、チーム責任者、監督、コーチ、マネジャー兼スコアラ、登録選手以外はベンチに入ることができない。
- 4.各チームはグラウンドインからアウトまで、大会本部の指示のもと速やかに行動し、グラウンドルールに従うこと。
- 5.客席に向かってトスバッティングを行ってはならない。
- 6.試合前のシートノックは5分間とし、守備位置につかずシートノックの補助をする登録選手は、ヘルメットを着用すること。試合前のシートノックを行なう場合は、アップを含め試合前のサイドノックは行わない。試合前のシートノックを行わない場合は、サイドノックを行なうことができる。
- 7.試合のスピードアップのために以下の項目を厳守すること。
  - (1) 攻守交代時、守備に移るチームは速やかにポジションにつくこと。攻撃に移るチームは、第一打者とベースコーチはミーティング（円陣など）には加わず、所定の位置に速やかにつくこと。
  - (2) 捕手から投手への返球は速やかに行うこと。投手はボールを手にしたら速やかに投手板に位置し、捕手からのサインは投手板に触れて受けること。また、投球間隔を必要と思われる以上に延ばしてはいけない。
  - (3) 打者は投手がボールを手にして投手板に位置する前にバッターボックスに入り、みだりにバッターボックスをはなれてはならない。たとえ打者がタイムを要求しても審判がタイムを宣言しないときはプレーを継続する。
  - (4) 次打者は必ずネクストバッターズサークルに入り、低い姿勢で待機すること。ただし、危険防止を踏まえ、片膝をついてスイングすることは認められる。

- (5) 捕手は1球ごとにホームプレートの前に出ないこと。
8. コーチボックスには、監督、コーチ、選手のいずれかが必ずヘルメット着用の上、入ること。※選手は両耳ヘルメットを着用
9. チーム責任者、監督、コーチ、マネージャー兼スコアラー、選手は相手チームを惑わすような行動、言動をしてはならない。また、相手チーム、審判大会関係者に悪口、暴言を吐いてはならない。
10. 試合時、ベンチでのメガホンの使用は1つまでとする。
11. 手袋、リストバンド、エルボーガード、フットガードの使用を認める。打者が走者になった場合、これらの脱着のためのタイムは認められない。  
ただし、打者走者が二塁ベースに到着した時に限り、脱着のためのタイムを認める。その際には、ベースコーチが速やかに行動すること。
12. 外野手のサングラス使用については、資格審査時に使用の申し出を行ない、用具確認時に使用サングラスの確認を行なう。
13. 試合中、次の試合のチームはグラウンド内で投球および送球練習をしてはならない。
14. バットボーイ、ボールボーイの補助員は登録選手が務め、ヘルメットを着用すること。
15. 試合中の応援団については、各会場の応援ルールを守り応援を行なう。チームグラウンド会場での試合の場合は、メガホンを使用して応援することはできない。
16. 大会運営について大会本部の指示に従うこと。